

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	県営森林基幹道開設事業			
予算科目	6款 2項 4目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 林業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 583	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 角田 栄治	
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	広域林道			
事業の必要性	林業の作業及び運搬の効率化を図るため、林道開設は欠かせないものである。			
施工方法、場所	【施工方法】 県営	【施工場所】 伊予市鶴崎		
運営方法	【運営方法】 事業完成後、伊予市へ移【運営費(予定)】			
事業の目的	広域林道を県営で実施することにより、林業作業の効率化及び林業の活性化を目的とする。			
事業の内容	砥部町万年地区を起点として、伊予市鶴崎地区を終点とする延長8,900m(伊予市分5,500m)の広域的な県営事業で開設していただき、県へ負担金を支出する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	ルート選定を適正かつ効果的なものとするため、県及びコンサルと設計協議を十分実施する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳							
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算			
事業費	直接事業費	7,200	4,290	0	4,290		
	人件費	1,627	1,590	795	1,590		
	合計	0	5,880	795	5,880		
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20		
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954		
	補助事業人件費	0	0	0	0		
	人件費	1,627	1,590	795	1,590		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	720	4,290	0	4,290		
	一般財源	8,107	1,590	795	1,590		
実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
林道開設工事負担金	7,200	4,290	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
年度別事業費	7,200	4,290	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	7,200	4,290	7,000	7,000	7,000	7,000
国・県支出金等名称	地域自主戦略交付金事業0.2						

成果指標				
成果指標	実施累計延長÷計画総延長×100			
指標設定の考え方	計画総延長を100%とし、累計延長の計画総延長に対する率により、事業進捗を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	3.6%	-	-	100%(9.2%)
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	この事業は県営で林道開設をし、その事業費に対して負担金を収めるものであるが、完成すれば、伊予市の鶺崎と砥部町の万年の集落間が林道でつながり利便性が向上するが、それぞれ伊予市と砥部町に移管され、維持管理していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	県営基幹林道事業(林道万年鶺崎線)は、平成23年度から実施しており、市は事業に見合った負担金を支出しており、重要な事業となっている。今後においても、県並びに地元関係者と連携を密にし、早期完成に向けて事業進捗を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題